

② 勤務時間の短縮

③ 休業

5 前各項の措置のうち、通院のための休暇、勤務時間の短縮及び休業の措置中の賃金の取扱いは、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{有 給} \\ \text{〇〇\%有給} \\ \text{無 給} \end{array} \right\}$  とする。

#### (育児休業及び介護休業等)

第17条 1歳(特別の事情がある一定の場合にあつては1歳6か月)に満たない子を養育するパートタイム労働者は、会社に申し出ることにより、育児休業をすることが、また、3歳に満たない子を養育する必要があるときは、育児短時間勤務制度の適用を受けることができる。

2 要介護状態にある家族を介護するパートタイム労働者は、会社に申し出ることにより、介護休業をし、又は介護短時間勤務制度の適用を受けることができる。

3 育児休業及び介護休業又は育児短時間勤務制度及び介護短時間勤務制度の適用を受けることができるパートタイム労働者の範囲その他必要な事項については、「育児・介護休業、育児・介護のための時間外・深夜業の制限及び育児・介護短時間勤務に関する規定」で定める。

4 小学校就学前の子を養育するパートタイム労働者は、1年に5日の範囲内で、会社に申し出て病気・けがをした子の看護のために休暇を取得することができる。

## 第6章 賃金

### (賃金)

第18条 賃金は、次のとおりとする。

① 基本給 時間給とし、職務内容、成果、能力、経験等を考慮して各人別に決定する。

② 諸手当

通勤手当 通勤に要する実費を支給する。ただし、自転車や自動車などの交通用具を使用しているパートタイム労働者については、別に定めるところによる。

皆勤手当 当該賃金計算期間中の皆勤者に支給する。 月額 〇円

所定時間外労働手当 第8条第1項の所定労働時間を超えて労働させたときは、次の算式により計算して支給する。

基本給 $\times$ 1.25 $\times$ 時間外労働時間数

皆勤手当 $\div$ 1年を平均した月所定労働時間数 $\times$ 1.25 $\times$ 時間外労働時間数

休日労働手当 第9条の所定休日に労働させたときは、次の算式により計算して支給する。

基本給 $\times$ 1.35 $\times$ 休日労働時間数

皆勤手当 $\div$ 1年を平均した月所定労働時間数 $\times$ 1.35 $\times$ 休日労働時間数

深夜労働手当 午後10時から午前5時までの間に労働させたときは、次の算式により計算して支給する。

基本給 $\times$ 0.25 $\times$ 深夜労働時間数

皆勤手当 $\div$ 1年を平均した月所定労働時間数 $\times$ 0.25 $\times$ 深夜労働時間数

### (休暇等の賃金)

第19条 第13条第1項で定める年次有給休暇については、所定労働時間労働したときに支払われる通常の賃金を支給する。

2 第14条で定める産前産後の休業期間については、有給(無給)とする。

3 第15条第1項で定める育児時間については、有給(無給)とする。

4 第15条第2項で定める生理日の休暇については、有給(無給)とする。

5 第16条第1項で定める時間内通院の時間については、有給(無給)とする。

6 第16条第2項で定める遅出、早退により就業しない時間については、有給(無給)とする。

7 第16条第3項で定める勤務中の休憩時間については、有給(無給)とする。

8 第16条第4項で定める勤務時間の短縮により就業しない時間及び休業の期間については、有給(無給)とする。

9 第17条第1項で定める育児休業の期間については、有給(無給)とする。

10 第17条第2項で定める介護休業の期間については、有給(無給)とする。

11 第17条第4項で定める看護休暇の期間については、有給(無給)とする。

### (欠勤等の扱い)

第20条 欠勤、遅刻、早退、及び私用外出の時間数に対する賃金は支払わないものとする。この場合の時間数の計算は、分単位とする。

### (賃金の支払い)

第21条 賃金は、前月〇〇日から当月〇〇日までの分について、当月〇〇日(支払日が休日に当たる場合はその前日)に通貨で直接その金額を本人に支払う。

2 次に掲げるものは賃金から控除するものとする。

① 源泉所得税

② 住民税

③ 雇用保険及び社会保険の被保険者については、その保険料の被保険者の負担分

④ その他、従業員の過半数を代表する者との書面による協定により控除することとしたもの

### (昇給)

第22条 1年以上勤続し、成績の優秀なパートタイム労働者については、その勤務成績、職務遂行能力等を考慮し昇給を行う。

2 昇給は、原則として年1回とし、〇月に実施する。

### (賞与)

第23条 毎年〇月〇日及び〇月〇日に在籍し、〇カ月以上勤続したパートタイム労働者に対しては、その勤務成績、職務内容等を考慮し賞与を支給する。